

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 181

事務事業名	高齢者活動支援施設運営事業
-------	---------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	長寿介護課		
課長名	山下 志朗	内線	89-100
担当者名	塚原 麻衣	内線	89-202

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020203	高齢者が暮らしやすいまちづくり
施策		高齢者を地域で支える体制の整備
関連施策		

会計	一般会計		
款	3	民生費	
項	1	社会福祉費	
目	2	老人福祉費	
事業コード	020208	高齢者活動支援施設運営事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市内に住所を有する単身利用可能な65歳以上の高齢者の介護予防と心身の状態の重度化予防を目的とした当該施設運営		
意図 対象をどのような状態にしたいか	自立高齢者等の生きがい・趣味活動の場や日常動作訓練などのサービスを提供し、生きがいづくりや社会参加の促進、閉じこもりの予防を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	高齢者活動支援施設として、要介護化及び要介護状態の重度化を予防するための日常生活に関する指導及び相談や、高齢者相互の自主活動の場を提供する通所施設として「伊勢町ふれあい館」、「中地区ふれあい館」で社会参加の場の提供を行う。		
事業期間	平成 13 年度 ~ 平成 年度	実施方法	委託
根拠法令、要綱等	高齢者活動支援施設条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標 ①	開館日数	計画値	245	244	242	241	
		実績値	244	242	241		
	達成度	%	99.6%	99.2%	99.6%		
活動指標 ②	講座等開催数	計画値	43	34	35	39	
		実績値	34	35	39		
	達成度	%	79.1%	102.9%	111.4%		
成果指標 ①	施設利用者	計画値	10,871	13,195	15,450	19,502	
		実績値	13,195	15,450	19,502		
	達成度	%	121.4%	117.1%	126.2%		
	年間延べ利用者数	計画値	1,086	1,183	1,004	1,273	
		実績値	1,183	1,004	1,273		
	達成度	%	108.9%	84.9%	126.8%		
成果指標 ②	講座等参加者数	計画値	1,086	1,183	1,004	1,273	
		実績値	1,183	1,004	1,273		
	達成度	%	108.9%	84.9%	126.8%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	13,248	12,744	9,012	14,774	10,217	10,217	10,217	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	1,320	1,545	1,081	1,441	909	909	909	
一般財源	11,928	11,199	7,931	13,333	9,308	9,308	9,308	
② 人件費(千円)	954	680	494	582	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.12	0.09	0.07	0.08	施設運営	施設運営	施設運営	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	14,202	13,424	9,506	15,356				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組を しましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	昨年度に比べると施設利用者数及び講座参加者数が増加傾向にある。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	高齢者に「生きがいづくり」や「人との交流」を通じて、要介護者の抑止を目的とした本事業は、中・長期的な介護予防という観点において必要性がある。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	高齢者への対応として「生きがいづくり」や「介護予防」への取り組みを行うことで要介護者の出現を抑え、介護給付費の抑制を図る為にも行政が関わるべきである。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	講座開催数は昨年とほとんど変わらないものの利用者数は増加した。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	高齢者が自主的に「生きがいづくり」や「介護予防」を実践できており、将来にわたり自立した生活を支える施策効果としては高い。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	施設の指定管理者制度を取り入れ運営している。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	条例に基づき利用料を設定している。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	新しい総合事業のなかでB型通所事業所として地域型拠点施設としての機能を果たしていく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	利用者の要介護化の抑制を図る。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。